

第6回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会
2015年6月13日(土)～14日(日)
@つくば国際会議場(茨城県つくば市)

ワークショップ 26	
タイトル	地域包括ケアを推進する地域リーダーになるために -多職種協働GW-
日時	6月13日(土) 16:20-18:40
企画責任者	鈴木 央 (委員会企画:地域包括ケア委員会・多職種協働委員会・IPE委員会 共同)
定員	24名
開催の目的・概要	
<p>【開催の目的】</p> <p>地域包括ケアはこの10年で達成しなければならない地域の大きな課題である。しかし、どうすれば達成できるのか、具体的な方法論はまだ完成されていない。しかし先進的な試みを行う各地の試みから共通したアイテムが明らかになりつつある。その一つは多職種によるグループワーク研修を繰り返し、医療介護の統合を目指すことである。同時にこのような研修を企画し実行する「地域リーダー」と呼ばれる存在の重要性が指摘されている。もちろん市区町村行政が担うべき役割は大きい、その担当者は数年おきに変わることが多い。地域を見渡し一定のビジョンの元、必要なアイテムを提案し実行する「地域リーダー」の存在は極めて重要と言える。この地域リーダーを輩出することは本学会の重要な責務であると考えている。</p> <p>【概要】</p> <p>本GWでは、東京大学高齢社会研究機構が柏プロジェクトの中で開発した多職種研修会のフォーマットを利用し、本学会における地域リーダー養成をめざし、多職種GWを行うものである。それぞれのテーブルは、医師、訪問看護師、歯科医師、薬剤師、ケアマネージャー、行政担当者、地域包括支援センター職員等が参加し、地域包括ケア確立に向けた課題を話し合いながら、地域リーダーに何が求められるのか、体感していただくものである。</p>	